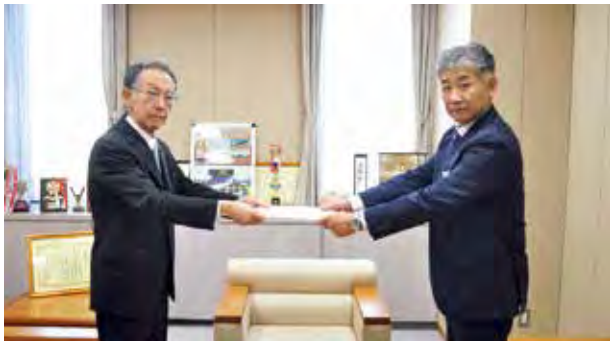
SDGs への取組活動

■一般財団法人仙南信用金庫育英会の運営（奨学金の支給）

創立 60 周年の記念事業として始めた地元の高校を卒業して大学へ進学する学生さんへの奨学金制度が 2026 年度で 16 年目に入り、県南地域の公立高校卒業生、延べ 101 名の学生に奨学金を支給をしています。奨学生には大学進学後の 4 年間、返済義務がない「給付型奨学金」を月額 20 千円を支給しています。



「奨学生内定通知書」交付の様子
白石高等学校若林校長先生（右）



角田高等学校菊地校長先生（右）

■お金の教室（金融教育出前講座）の開催

2025 年度は白石第一小学校、白石第二小学校で開催しました。クイズ形式の授業では、真剣に考えて解答する児童が多く、また、1 億円、1 千万円の模擬紙幣による重さの体験では、参加者全員が体験し、大変盛り上がりました。



■第 12 回「せんなん寺子屋学習室」の開催

小学生の夏休み期間中に「しんきんホール」を学習室として開放しました。7 月 23 日（水）～25 日（金）で延べ 65 名の子供たちが夏休みの宿題など自主学習に取組みました。



■第 25 回 少年野球大会開催

6 月 22 日（日）、6 月 29 日（日）の 2 日間に亘り、4 市 7 町から 19 チームが参加し熱戦が繰り広げられました。予選から熱戦につぐ熱戦で見応えある試合が続きました。



■清掃活動への参加

信用金庫の日（6 月 15 日）の全店統一活動として、店舗周辺の清掃活動を行っています。この他、春と秋の 2 回、白石市の沢端川川干し清掃活動に参加しています。



白石城お堀清掃活動

地域密着型金融の推進

「地域密着型金融」とは、「お客様との親密で長いお付き合いのなかで蓄積してきた情報を基に行う金融取引」のことです。協同組織金融機関である当金庫は、その活動の全てが「地域密着型金融」であると考えています。

1. 基本的考え方

当金庫では、「地域とともに生きていく」をスローガンに地域経済の発展に貢献していくことを経営の基本とし、地域のお客様から預金としてお預かりした資金を地元に還元できるよう積極的に融資取引の拡大をはかり、地域の中小企業や個人のお客様の資金ニーズにお応えしてまいります。

2. 具体的な取組み

- 営業店と本部専門部署並びに外部専門機関が連携し、お客様の経営改善のお手伝いをしています。
- 不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資手法の導入に取組んでいます。
- 営業活動を通じた融資相談・融資提案を行い地域経済に貢献するため、外部研修に職員を派遣する等、人材の育成と職員のスキルアップをはかっています。
- 「ビジネスマッチ東北 2025」に参画し、お取引先企業の販路拡大をはかるとともに、地域の産業の振興をはかっています。
- 地方公共団体に対する資金の貸付、公金預金の受け入れ、地方債の引受等の取引を通じて地域の発展に貢献していきます。

3. 定量的な取組み実績（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

- 経営改善支援等

（単位：先数）　（単位：%）

		期初債務者数	うち経営改善支援取組み先数	αのうち期末に債務者区分がランクアップした先数	αのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数	αのうち再生計画を策定している全ての先数	経営改善支援取組み率	ランクアップ率	再生計画策定率
		A	α	β	γ	δ	α / A	β / α	δ / α
正常先	①	1,729	0		0	0	0.0%		–
要注意先	うちその他要注意先②	637	4	0	3	4	0.6%	0.0%	100.0%
要注意先	うち要管理先③	2	0	0	0	0	0.0%	–	–
破綻懸念先	④	102	2	0	1	2	2.0%	0.0%	100.0%
実質破綻先	⑤	11	0	0	0	0	0.0%	–	–
破綻先	⑥	2	0	0	0	0	0.0%	–	–
小計（②～⑥の計）		754	6	0	4	6	0.8%	0.0%	100.0%
合計		2,483	6	0	4	6	0.2%	0.0%	100.0%

- 創業計画の策定支援先（不動産賃貸業を除く）……11 先
- 創業期のお取引先への融資実績……619 百万円

■ビジネスマッチ東北 2025

第 20 回目となる東北最大級のビジネス展示・商談会が夢メッセみやぎで開催されました。開催イベントを通じてお客様の販路開拓の支援に努めております。



